

遠足に行ってきました！

やまもも保育所 芳我 岳陽

7月8日（木）、山王台公園へ遠足に行ってきました。

今月のすいせん組の保育テーマは「世界」。

将来この国を背負って立つであろう子どもたちに、世界の大きさを体感してもらいたい。それならまずは視覚から入るのがよいだろうということで、東金一眺めのよい山王台公園の展望台に行く事にしました。

季節がら雨が心配ではありましたが、当日はやはり雨予報。今にも降り出しそうな重たい空模様でした。ですが、出発の時間になると雲は薄い灰色になり、心配なきような天気になりました。「行けるぞ！」ということで、病院バスに乗り込み、いざ出発！

日吉台に通じる坂を上り、左手に山王台公園の入り口があります。そこから展望台を目指し細い山道に入って行くと、車窓から見えるのは東金と思えないような山深い森の中。暗い空模様も相まって、まるで異界に迷い込んでしまったかのような雰囲気。子どもたちもドキドキしている様子でした。

展望台駐車場に到着すると、すぐに展望台が目に入りました。子どもたちはその開放感溢れるロケーションに大喜び！ はやる気持ちを抑えてリュックサックをおろすと皆すぐに高台目指してダッシュ。そこには太平洋まで見渡せる大パノラマが広がっていました（ちょっと大袈裟かな）。

皆、最初は展望台から、それから色々な場所にかけて景色を眺めていました。「さっきのバス（送迎車）が見えるよ！」「電車ちっさいね！」「あれ、病院の車じゃない？」と普段は見る事の出来ない俯瞰の景色に皆しばらく感嘆の声をあげていました。

そんな中、年長児のS君はひとり、広場の隅にある高さ1m位の杭の上に立ち、景色を眺めていました。私がそばに行くと、S君は自分が見たものを色々教えてくれました。それからしばらく風景についての会話をしました。私が「ずっと向こうに海が見えるよ」と話すと、「海の向こうには何があるの？」とS君。こういう質問をして欲しかったのだよ！と思っていた私。「アメリカがあるんだよ。」と答えると、「えー、すごい！Kちゃんに教えてくる！」とあって友達の元へ行き、驚きを共有していました。

皆、景色を堪能し、世界の大きさを感じたところでリュックサックを背負い、森の中へ探検開始！ 展望台の脇にある神社に通じる階段を登って行きます。いかにも千と千尋の神〇しといった感じのシチュエーションです。



慎重に歩みを進め鳥居をくぐり、まずは神様にご挨拶。二礼二拍手一礼の作法を子どもたちに伝え、13人だったので130円をお賽銭にいれ、みなで参拝。二拍手がふつうの拍手になり、神様に出てきて！といわんばかりのカーテンコール状態になったのはご愛嬌。神社の脇を抜け、より鬱蒼とした森へ入って行きました。鳥たちのさえずりや葉のざわめき、木々の放つ森の芳香が心地よくいつまでもここに留まりたい気持ちになりましたが、歩みを止めると蚊の猛襲にあうのでそうも言ってもらえません。体のあちこちにたかるヤブ蚊を払いのけ、段差も幅もまちまちな歩きにくい階段を黙々と頑張って歩きました。



そんなこんなで下山して八鶴湖のほとりにある藤棚の下でおまじかのお弁当タイム。

みんな、お母さんの味を美味しくそうに堪能していました。食後はすぐそばの谷児童公園でひと遊び。さすがは普段から散歩や運動遊びで鍛えられている子どもたち。ちっとも疲れた様子はありませんでした。



帰りのバスに乗り込むと、空から堪えきれなくなったように雨粒が落ちてきました。普段みんなのおこないがよいからだよと話す、皆当然！といった顔持ちでした。

最後になりますが、施設管理課の篠崎さん。送迎有難うございました。